



**相川 春季子牛共進会が
開催されました 4月1日**

今年最初の春季佐渡市子牛共進会が開催され雌27頭、去勢15頭の、合わせて42頭が出場し、雌の部では石名の浜口義一さん所有の「なつみ」が、去勢の部では羽茂上山

田の作沢均さん所有の「佐渡錦」がそれぞれ最優秀賞を受賞されました。また、2日の家畜市場では子牛119頭、成牛8頭が上場され、成立した頭数は121頭が取引されました。子牛1頭あたりの平均価格は前回の昨年11月市場との比較で1万6956円下落し、36万6087円での取引となりました。



**「オストメイト対応トイレ」
を設置しました**

市では、市役所本庁およびアミューズメント佐渡の各身体障がい者用トイレを一部改修し、「オストメイト対応トイレ」を設置しましたのでご利用ください。

◆オストメイトとは…

大腸や膀胱の手術により、人工肛門や人工膀胱になられた方のことです。オストメイトの方々は、ストーマと呼ばれる新しい排泄口を腹部に作らなければなりません。そのストーマに補助具（蓄便袋、蓄尿袋）を装着して、ある程度溜まったところでトイレに流すなどの方法で処理しています。「オストメイト対応トイレ」は、この処理を容易にし、安心してご利用いただくための設備です。



案内板



**羽茂 「ひまわりサロン」
オープン**

女性による地域農業等の活性化を目指し活動している「グループひまわり」が、佐渡おこしチャレンジ事業を利用して、羽茂大橋地区に「ひまわりサロン」をオープンしました。このサロンは、加工品等の展示直売や地域の住民が気軽に集える拠点となるもので、オープンを記念して「春のひまわりまつり」が開催されました。サロン内には、地元農産物の加工品や地域住民の写真やちぎり絵などの作品が多数展示され、多くの人で賑っていました。

**全国天領ゼミナール
開催終了のお知らせ**

昭和60年に出雲崎で始まり、その後、第5回から佐渡で開催された全国天領ゼミナールは平成20年度までに24回を数えることができました。

しかし、諸般の事情により残念ながら第24回をもって終了することとなりました。皆さまにはこれまで、天領ゼミナールの開催・運営にひとかたならぬご支援・ご協力を賜り、深く感謝します。

なお、今後は別なかたちで、再びお目にかかることができるようにつとめていく所存です。また、昨年の記録集については現在、編集作業中です。発刊の際にはあらためて市の広報紙等でお知らせします。ご理解とご協力をよろしく願います。

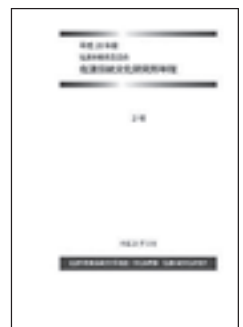
教育委員会 文化振興室
天領ゼミナール事務局

**『平成20年度 佐渡市教育委員会
佐渡伝統文化研究所年報』2号発刊のお知らせ**

創立2年を迎えた佐渡伝統文化研究所では、研究所の活動記録、平成20年度における「佐渡に関する歴史・文化に関する図書・論文目録」、3編の「研究論文」、4編の「資料紹介」から構成されている『佐渡伝統文化研究所年報』を、電子出版として発刊しました。

「佐渡学センター」のホームページに掲載していますので、お読みください。また、このホームページには、『佐渡伝統文化研究所だより』1号～4号も掲載していますので、あわせてご覧ください。

お問い合わせ 教育委員会 文化振興室 佐渡学センター ☎23-2100
ホームページ<http://www.city.sado.niigata.jp/sadobunka/denbun/>
佐渡市ホームページ→佐渡の歴史と文化→お知らせ・新着情報→佐渡学センター



おわびと訂正 市報さど4月号19ページに掲載しました「相川ひなまつり」の記事について、次のように表現を訂正します。
(2行目から) この人形は、明治初期に庶民が、高価なひな人形の代わりに土で作り色づけした人形だそうです。